

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 群馬森林管理署
所在地	群馬県 桐生市
面積	21.28ha
設定年	1988(S63)年
保護林の概要 (設定目的)	根本沢西側に源を発する桐生川の最上流地帯の峡谷に成立しているシオジ林であり、胸高直径で100cmを越える老齢木を含み、学術上及び遺伝資源の確保上貴重である。このため、土地的極相林として成立しているシオジが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2010年、2015年、2020年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、シオジ群落、イヌシデ群落(シオジの実生状況調査)において調査プロットを計3箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	森林詳細調査について、上層木を構成するシオジ含め、生育している立木に枯損、折損、倒伏等は認められず、健全に生育している。低木層、草本層が少なく、林床は見通しの良い状態。一部の低木は1.5m以下の高さまで梢端や枝先にニホンジカによる食痕が見られる。草本層について1、2年生程度の実生は点在するが、草本の分布は僅かで落葉に覆われた林床が露出している。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。